

やあめ



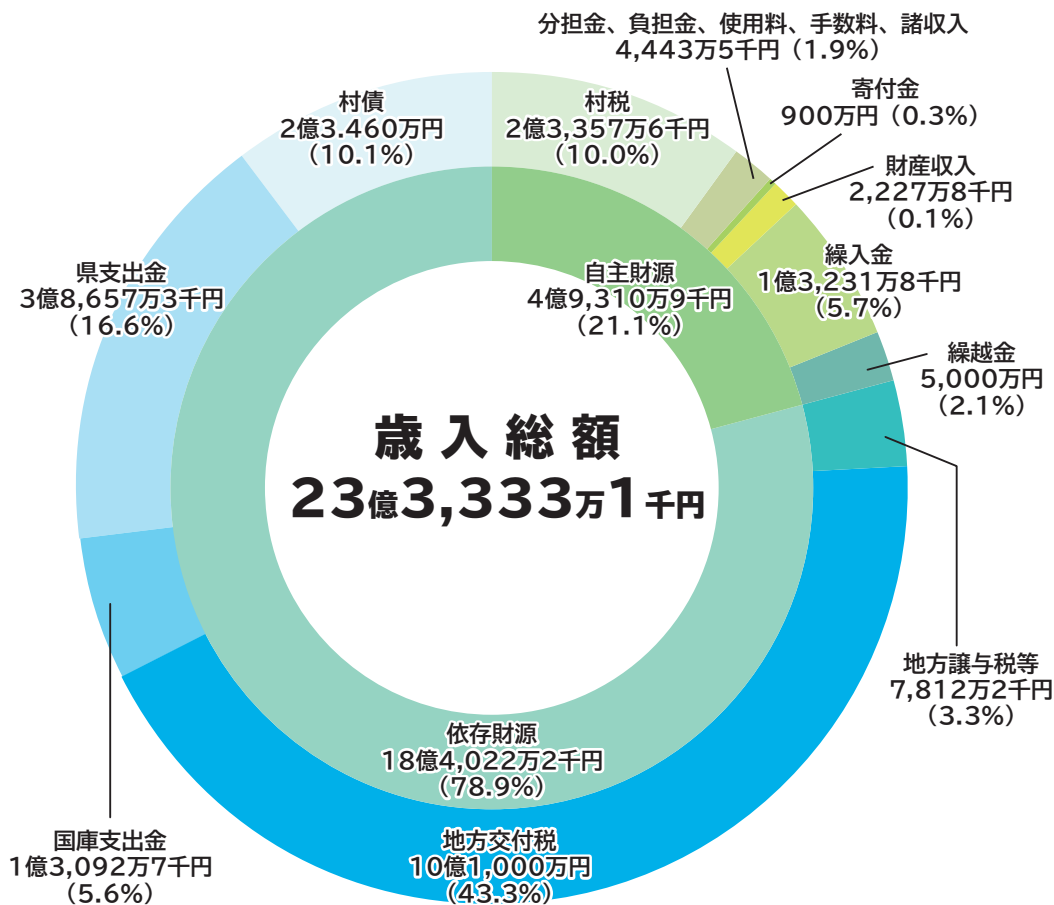
- ・平成最後の当初予算 (3月定例会)
- ・次期、村長選は (一般質問)
- ・村人インタビュー

ピカピカの1年生 (4月9日)

3,333万円

(前年度比 △4億3,800万円)

令和へつなぐ



平成30年度で終了する「ふるさと五木村づくり計画」は、
 村の再建がまだ半ばである^{なか}と熊本県と協議。
 今後5年間基金も含め3億円規模の財政支援を実施する
 協議が整った。

平成31年第1回、五木村議会定例会を3月7日(木)午前10時から開催し、会期を3月14日までの8日間として人事案件2件、工事請負変更契約案件1件、指定管理案件4件、条例の改正案件3件、平成30年度補正予算案件7件、平成31年度当初予算案件10件の合計27件が提案された。

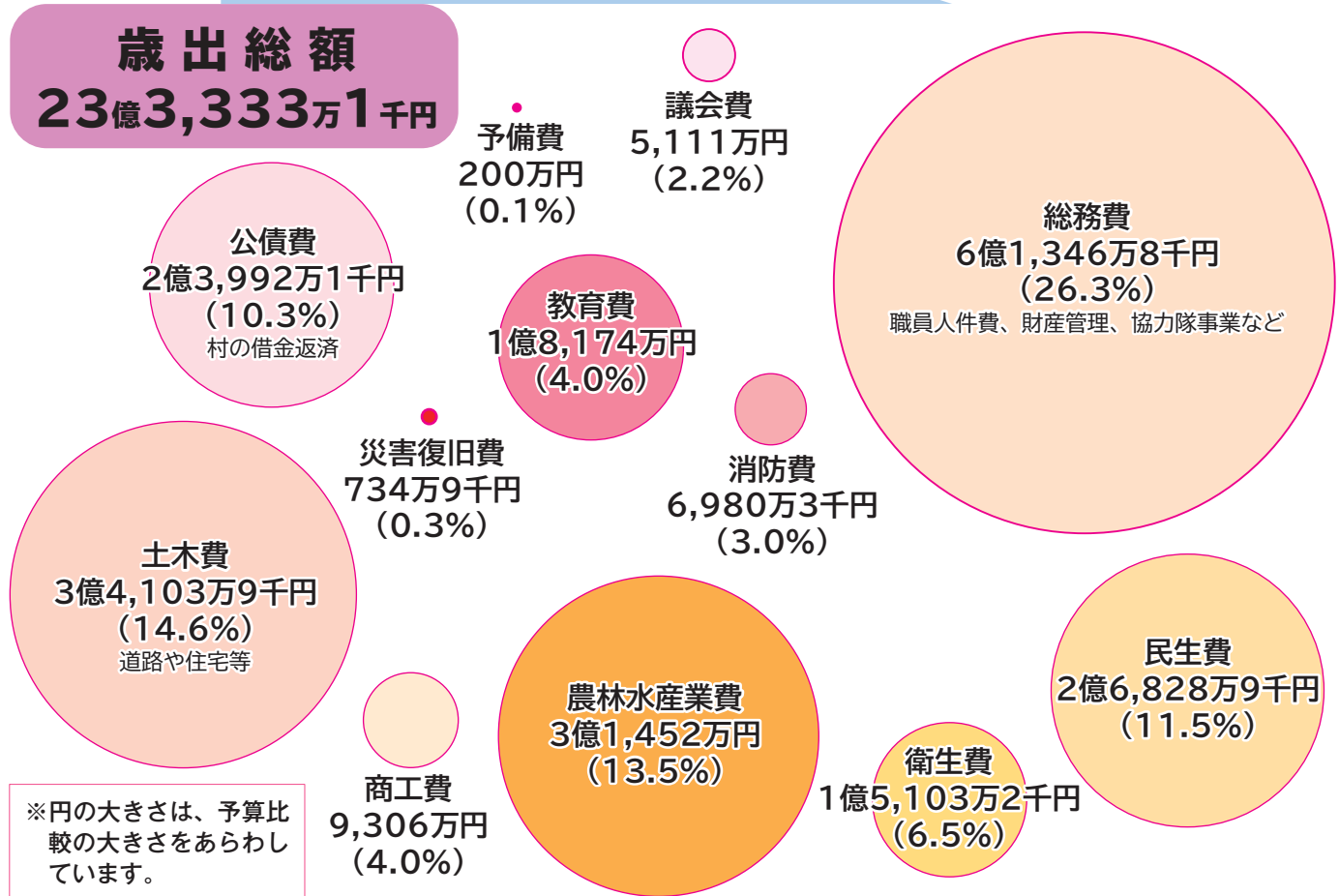
提案理由の中で和田村長は、平成30年度で終了する「ふるさと五木村づくり計画」はダム休止後の村再建が、まだ半ばであると熊本県と協議を行った。今後5年間、基金も含め3億円規模の財政支援を実施する協議が整ったことを念頭に、また消費税が10月に8%から10%になることも考慮して予算編成にあたったと明言した。

慎重審議の結果「五木村子育て・定住支援条例の全部を改正する条例」は、賛成5・反対2「平成30年度五木村一般会計補正予算」は賛成6・反対1の賛成多数で可決。「平成31年度一般会計当初予算」を含むその他の25案件は全員賛成で可決した。

一般質問は5日目の3月11日(月)3人の議員が村の課題・振興策などについて質問を行い3月14日(木)に討論・採決、その結果、全議案可決閉会した。

平成最後の予算

23億



平成 31 年度当初予算を全会一致で可決

子育て・定住支援のために、出産祝金、養育奨励金、チャイルドシート購入助成などを廃止。今回、条例を全部改正する提案がなされ、討論・採決の結果、賛成多数で可決した。

平成31年第1回五木村議会定例会の中で、一般会計当初予算23億3,333万円の主な歳出の中身としては、総務費では村のホームページリニューアル、ふるさと納税活用推進、生活交通対策など。民生費では子育て・定住支援事業の各種助成金等を一本化した「子育て応援助成金」を新設、衛生費では平野地区飲料水供給施設改修工事など。農林水産業費では森林環境譲与税に係る森林経営管理費を新たに追目して事業を行う。また、商工費ではプレミアム付商品券の交換事務等で委託料や助成金を計上。土木費では村営住宅建設により定住につなげる計画。教育費は、五木中学校グラウンドの外周ランニングコースを舗装改修する予算などを計上した。

討論では、「子育て・定住支援条例の全部改正」に対して廃止する条項（通勤費助成金など）により支援度低下を指摘する反対討論があったが、採決の結果、賛成5・反対2で可決した。

平成31年度 当初予算対前年度比較表

(単位：千円)

会 計 名	平成31年度	平成30年度	対前年度	
			増減額	増減率
一 般 会 計	2,333,331	2,771,923	△ 438,592	△ 15.8%
国民健康保険特別会計	149,933	159,026	△ 9,093	△ 5.7%
ダム対策事業特別会計	35	57	△ 22	△ 38.6%
簡易水道事業特別会計	18,211	19,677	△ 1,466	△ 7.5%
農業集落排水事業特別会計	13,922	13,748	174	1.3%
介護保険特別会計	197,902	208,106	△ 10,204	△ 4.9%
代替地上下水道特別会計	14,911	14,385	526	3.7%
後期高齢者医療特別会計	23,199	22,512	687	3.1%
墓地公園特別会計	246	275	△ 29	△ 10.5%
情報通信事業特別会計	29,810	28,518	1,292	4.5%
特別会計小計	448,169	466,304	△ 18,135	△ 3.9%
合 計	2,781,500	3,238,227	△ 456,727	△ 14.1%

子育て・定住支援条例を全部改正 (賛成5：反対2で可決)

ー 全部改正のポイント項目 ー

新規 子育て応援助成金 (担当課：保健福祉課)

子供1人につき毎年2万円(0歳～15歳)

「廃止」する事業	「継続」して実施する事業
・ 出産祝金 ・ 養育奨励金 ・ チャイルドシート購入助成金 ・ 結婚祝金 ・ 新築祝金 ・ 増改築祝金 ・ U I ターン助成金 ・ 通勤費助成金 ・ 集落内道路等整備助成金 ・ 保育料軽減助成金(保育料は10月から「無償化」として準備中です。)	・ 妊婦健診交通費助成金(保健福祉課) ・ 乳幼児特殊ミルク代助成金(保健福祉課) ・ 子供医療費助成金(保健福祉課) ・ 不妊治療費助成金(保健福祉課) ・ 修学旅行費助成金(教育委員会) ・ 給食費助成金(教育委員会) ・ 村営住宅定住助成金(建設課)

() = 担当課

第 1 回 臨 時 会

村道梶原線道路災害復旧工事に 5,800 万円

平成 31 年第 1 回五木村議会臨時会を 2 月 7 日（木）午前 10 時から開会した。
会期は 1 日間。

議案第 1 号は工事請負変更契約の締結について
（水没予定地*東部エリア建築工事）

議案第 2 号は工事請負変更契約の締結について
（水没予定地*東部エリア機械設備工事）

議案第 3 号は工事請負契約の締結について（村道
梶原線道路災害復旧工事）

議案第 4 号は平成 30 年度五木村一般会計補正予
算（第 5 号）

が、提案され議案第 1 号と第 2 号は賛成多数で可決。

議案第 3 号と第 4 号は全員賛成で可決した。

*（東部エリア地域：旧東小跡地）



村道梶原線災害の様子

第 2 回 臨 時 会

— 翌年度の繰越事業を承認 —

平成 31 年第 2 回五木村議会臨時会を 3 月 26 日（火）に開会。会期は 1 日間。
案件は議案第 32 号の補正予算 1 件のみで、繰越事業の承認に関する内容を全
会一致で可決した。

（単位：千円）

事 業 名	金 額
会計年度任用職員制度導入のための例規整備支援業務委託事業	2,160
社会資本総合整備計画事後評価分析業務委託事業（五木東部地区）	5,000
八重地区飲料水供給施設改修事業	42,250
平沢津地区飲料水供給施設改修事業	12,260
村有林素材生産事業（間伐）委託事業	11,466
分収造成林間伐（切捨）事業委託事業	624
プレミアム付商品券事業	454
村道神屋敷線道路改良委託事業	77,060
村道橋梁補修事業	20,772
防災行政無線デジタル化二次整備事業	365,638
消防団救助能力向上資機材購入事業	807
林道災害復旧事業（林道瀬目下谷線外 4 路線）	16,781
村道災害復旧事業（村道瀬目線外 9 路線）	102,638
計	657,910



藤本新一 議員

安定して生産が出来るハウス栽培を

和田村長 検討しているが初期投資の問題がある

農地問題と農産物の生産について

質問 高齢化に伴い耕作放棄地が多くなっている。第6期基本構想と基本計画で検討し、農産物の生産対策が必要と思うが。

村長 これまで色々な作物を奨励してきた。少ない耕作面積で付加価値の高い作物を作る努力をしてきたが、今後も取組んでいく。

質問 耕作放棄地が多くなると動物のエリアが広くなって人が住めない状況になる。雑草木等を刈り取る

ことが必要と思うが。

村長 耕作放棄地対策協議会に対応をしているが、土地所有者の関係等もあり、思うように至っていない。

質問 我村は小面積の農地で動物被害対策もコスト高であり、収益が見込める畑ワサビ栽培を行う考えは。

村長 動物被害が少ない農産物があれば取り組みは有効と思う。

質問 大手企業イオンは子会社をつくって野菜等を生産しており、国・県の協力を得て接触する考えは。

村長 国、県にも協力をお

願いしながら検討したい。

質問 農産物の生産は路地栽培からハウス栽培が主流になっている。我村の狭い農地では安定した生産が出来るが、村長の考えは。

村長 ハウス物は検討をしているが、初期投資等の問題もある。

質問 水没予定地の利活用は制限があり、村が誘致企業を取り組みとして農産物加工場を作る考えは。

村長 加工場が稼働をする量の生産物が集まるか、土地も少ない中で今、加工場を作る状況にはない。

質問 全国で農業法人を立ち上げている女性も多く、「きたない」「きつい」農業から働き方改革や6次産業化により付加価値の高い農産物を生産に取り組む人を募集する考えは。

村長 村から呼びかけしてない関係もあつて現在のところ希望者はないが、その様な方があつて条件が揃えば取り組みは可能である。

質問 地域おこし協力隊の公募を農業参入や起業を前に公募する必要があるが。

村長 そのような募集の仕方もあると思う。

質問 シカ、サル
の被害が少ない子別峠地区で高地野菜の生産を農林水産物協議会で行う考えはないか。

村長 農地の集約化等をやりながら取り組みは必要と思う。

質問 我村ではサル、シカの被害で自家で食す野菜も作れず、村が抜本的対策に取り組み必要があると思う

が。
村長 農家の方、地域の方が罾による鳥獣狩猟資格をとっていただき、又新規駆除隊へ参入を促すような考えである。
質問 高齢化により自分で防護柵やネット等の設置が出来ない状況にあり、早急に対策が必要と思うが。

村長 今まで何十年と対策の歴史があるが思うようになつてなく、再度対策を進めたい。



頭地大橋から見た旧久領地区



次期、村長選は

和田村長 時期が来たら明らかにしたい



早田吉臣 議員

成年後見制度について

質問 成年後見人制度の周知はどうされているのか。

保健福祉課長 平成28年度から保健センターで相談会。昨年は一般住民、民生委員、社会福祉協議会などの福祉関係の方に勉強会を行っている。

質問 高齢者の虐待防止や権利擁護また、空き家、放置山林の対策のためにも周知と認識が必要ではないか。

村長 権利の保持、人権を尊重しながら中核センターに専門的な知識を有する人を配置する必要がある。

行財政改革について

質問 事務作業の改革として近隣市町村とのクラウド管理計画はないのか。

村長 人吉球磨でたびたび話題には出るが具体的に踏み出すような現状には至っていない。

質問 行財政改革の一環としてR・P・A（ロボテック・プロセス・オートメーション）の導入する計画はないか。

村長 研修会などには参加している。まだ、具体的に導入するかしないかの話には至っていない。

質問 役場の窓口のワンストップ化と窓口職員を交代で行い業務の共有化などは出来ないか。

村長 玄関を入って総合相談窓口の看板を掲げ職員から声掛けなどを行っている。職務の専門性もあるが庁内で協議して可能であれば行いたい。

村長の任期について

質問 平成31年度予算は、何に重点を置いて予算編成をしたのか。

村長 住民が安心して住めるよう、また少子高齢化が少しでも抑制できるよう予算編成を行った。

質問 村営住宅が不足している。小浜と野々脇の空き地に建設できないか。

村長 小浜は国土交通省の土地・公園であり、現状では利用できない。野々脇は、将来的には活用していきたい。



いと思っています。

質問 31年度予算は、通年4月から翌年3月まで作成されたのであれば、10月の村長の任期がくる。次期も村長として務める意気込みはあるのか。

村長 まだ誰とも相談したことはない。予算成立して行政執行をやりながら進退については、時期が来れば明らかにしたい。



西村久徳 議員

村内の商店や建設業の閉業対策は

和田村長 残念に思っているが、代替えの決め手はない

質問 近年、村内各地の商店が相次いで閉店され、生活用品の買い物等不便と不安を感じておられる。商店は買物は元より地域の拠り所でもある。生き残りをかけた方策はないのか、また村として対策は講じたのか。

村長 商店がなくなる事は非常に寂しい思い。昨年コンビニ的なものが出来ないかと試験的にやった経緯があるが断念した。

質問 村内大手建設業も廃業されると聞く。広大で急しゅんな山あいの山村で災害や豪雪時など機動力が必

質問 水没予定地の元東小

コテージと森の遊び場について

要な中に、村の衰退が急速に押寄せてくる感がある。これらの件については真剣に対策を講ずる必要があると思うが。

村長 廃業は誠に残念な事だと思ふ。村内には建設業者が三社と振興公社が残る。除雪や災害時など住民に迷惑が掛からないようにしたい。

4月から営業開始となるが、開業に当たり何ら不備なく態勢は確立されているか。また営業にあたって一番大事なこととは何とされるか。

村長 4月20日の開業をめざして不備がないよう準備態勢は確立している。雇用や地産地消等で必要な施設であり、独立採算の自社資金で運営することになっている。また、それに携わる運営スタッフが重要であると認識している。



林道日当線・議会調査時のようす

歴史文化交流館の運営について

質問 年間入館者数が当初計画の約3分の1しかなく今年度は昨年より少ない。村長、教育長は自ら減俸までされて、来年は集客を計ると言われたが、昨年より少ないのは何故か。

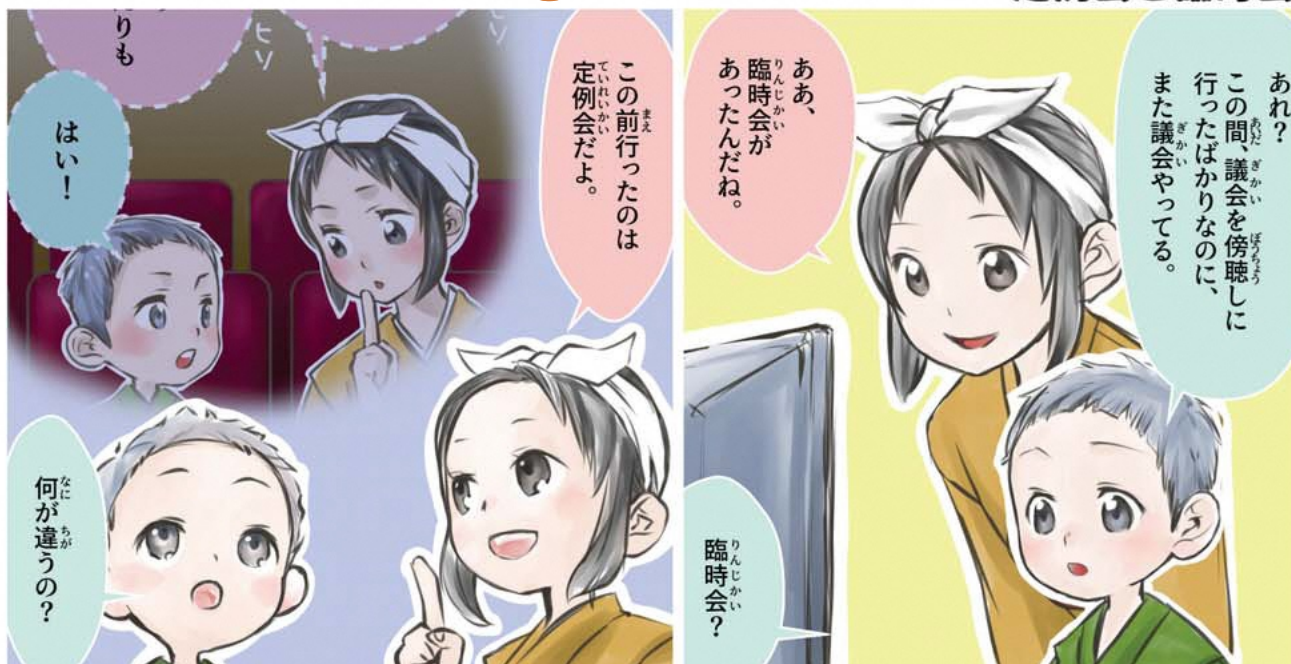
教育長 現時点で目標としている数値には届いていない状況で今後集客のため、メディア等でPRしていく。

村道、林道等の維持管理について

質問 管理のあり方を、研究する必要があるのか。

建設課長 現状どおり通常の維持管理は振興公社へお願いすることになっている。

ほか、6次基本構想についても質問した。



村の基幹産業である林業に関係する人材育成、担い手確保の必要性を背景に、平成28年に村が県に要望をしていた「くまもと林業大学校」について、その後を追った。

これまでの経緯

議会でもこれまで県営の施設誘致等について度々意見や要望



平成28年6月、村が郡町村会へ要望したことを契機に熊本県へ



平成30年3月定例会の折に県営施設の可能性について村長答弁



平成30年12月定例会の一般質問で林業大学の現状について質問



平成30年12月17日、熊本県と五木村が連携協力の協定を締結



平成31年4月15日「くまもと林業大学校」開校（五木村県南校）

熊本県において昨年8月に林業大学校の設置案が正式に了承され、同年11月末から一般選考の生徒を募集開始。結果、第1期生となる17人がこの春入校し、そのうち6人は五木村を拠点とする県南校で学ぶこととなった。



座学受講のようす



入校者の皆さん（五木村役場にて）

追跡

あれから
どうなった？

県営林業大学校を開校

（平成31年4月15日）

村人インタビュー

CAFÉみなもとオープン

株式会社日添は、白滝公園前にCAFÉみなもとを開店しました。私たちは、五木村はたくさん魅力がある村だと考えています。肉厚のしいたけ、山の中で育った地はちみつ、きれいな水で育ったお米、水質日本一の川、そして、あたたかい人など。カフェを開くまでもたくさんの方にお手伝いをしていただきました。

そんな魅力的な村をもっと外の人にも村の方にも伝えられるような店にしていきたいと思っています。

五木村には課題はたくさんあると思いますが、1000人の小さい村だからこそできる一人ひとりの魅力を引き出せるような事業や活動がもっと増えることを期待しています。そしてその魅力がたくさんの人に伝わるようにしていきたいと思っています。



CAFÉ みなもと店内



日野 まさき 正基さん 土屋 のぞみ 望生さん 木下 やすなり 保成さん



● 議会の動き (1月～3月) ●

- 1**
- 4日 成人式 (全議員)
 - 5日 消防出初式 (全議員)
 - 9日 定例全員協議会
広報委員会 (第1回編集会議)
 - 10日 定例郡議長会議 (議長)
 - 13日 新春駅伝大会 (全議員)
 - 17日 社会保障自治体要請キャラバン対応 (議長)
 - 18日 広報委員会 (第2回編集会議)
ウッズスタート祝い品贈呈式 (議長)
 - 22日 例月監査 (中村監査委員)
広報委員会 (第3回編集会議)
 - 23日 臨時全員協議会 (全議員)
下球磨町村議会議長会研修会及び交流会 (議員、局長)
 - 24日 経済常任委員会 (各委員)
 - 25日 広報委員会 (第4回編集会議)
事務局長会議 (局長)
- 2**
- 4日 臨時全員協議会 (全議員)
 - 7日 第1回臨時議会 (全議員)
定例全員協議会 (全議員)
 - 14日 定例郡議長会議 (議長)

- 15～16日 県議会定期総会 (議長)
 - 19日 郡議員研修会 (全議員)
 - 20日 例月監査 (中村監査委員)
 - 22日 県防衛セミナー (副議長)
 - 27日 人吉下球磨消防組合定例会 (岡本せ議員)
 - 28日 人吉球磨広域行政組合定例会 (黒川・川辺議員)
- 3**
- 1日 議会運営委員会 (各委員)
人吉高校五木分校卒業式 (全議員)
 - 7日 平成31年第1回議会定例会 (～14日閉会)
 - 9日 人吉球磨観光地域フォーラム (各議員)
 - 10日 五木中学校卒業式 (全議員)
 - 16日 九州チャレンジサイクルロードレース2019 (～17日)
 - 20日 五木東小学校卒業式 (全議員)
 - 22日 定例郡議長会議 (議長)
例月監査 (中村監査委員)
 - 23日 中央保育所卒園式 (議長)
 - 24日 全国高等学校選抜自転車競技大会
 - 26日 第2回臨時議会 (全議員)
 - 27日 人吉球磨広域行政組合第1回定例会 (黒川・川辺議員)

五木の重々物 植物シリーズ No.13



ニフトコ（スイカズラ科）「山菜 薬木」 別名、接骨木

雑木林などどこでも見られる落葉性の低木で、高さ3メートル前後になり、葉は羽状複葉で長葉である。4月ごろ泡のような白っぽい花が咲く、果実は小粒の球状で美しく紅熟する。

- 採取方法 新芽を摘む
- 食べ方 てんぷら、油いため（てんぷらで食べるのが美味しいです。）



※薬用としても利用される。

枝幹を煎じ煮つめて、ドロドロの水あめ状にしたものを患部に貼ると、接骨、打ち身、リュウマチに良いと言われている。

編集 後記

新しい元号が4月1日に発表され、平成から令和へと新しい時代の幕開けに、平成最後の統一地方選挙や、令和最初の選挙がある。住民が議員に期待することは、いろいろあると思う。議員も選挙の時、いろいろと努力目標は掲げることが、**「言うは易く行ふは難し」**である。

ただ、議員は提案することができるが、やりたいことがあっても予算を組んで執行する権限はない。村長は自分のやりたいことを予算化し、提案して執行することができる。

ただし、議会が議決しなければ、村長は執行することはできない。その道に入ってみないと分からないことが多々ある。

平成最後の統一地方選挙では、町村長や議員のなり手不足で無投票当選や少数激戦もあったが、各町村とも難しい「少子高齢化と過疎化」対策に頭を悩ませている。

令和の時代は、「行政や議会」に関心を持って多くの人達が挑戦してくれることを期待したい。

（岡本正）



次回の定例会は6月中旬の予定です。
皆様の傍聴をお待ちしております。

表紙題字：故 尾方 芳郎氏